

1.計画名称

茅野市スポーツ推進計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	現在の総合体育館などのスポーツ施設は、昭和53年のやまびこ国体を契機として、徐々に整備を図ってきたもので、建築以来40年余を過ぎた施設が殆どで、老朽化が進んでいる。市民が安心して、安全にスポーツを行うためには、計画的な改修が必要となる。 また、市民がスポーツを親しみスポーツを長く続けるためには、地域活動をしている団体、組織への支援等を通じ、多くの市民がスポーツに取り組める環境を整備することが必要である。
今後の重点化施策番号	3	説明	コロナ終息後の更なる計画推進に向け、施設を安全安心に利用できるよう整備が必要である。厳しい財政状況ではあるが、運動公園体育施設中長期改修計画に沿った改修及び管理運営面をスポーツ協会と連携を図り計画を推進する。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	地域における子どものスポーツ機会の充実	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、開催できた教室もありますが、延期や中止が多かった。	コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。	コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。
2	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、開催できた教室もありますが、延期や中止が多かった。	コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。	コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。
3	市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備	やや遅れている	スポーツ協会、スポーツリーダーバンクへの支援は、継続して実施している。 各施設の定期点検や職員による補修工事を実施することで、最低限の安全性を維持している。	指導者の入れ替わりがないまま、高齢による引退等により指導員の減少が続いている。 施設の老朽化が進み小規模から大規模まで修繕の必要性は高まっているが、財政面の問題から改修が遅れている。	スポーツに親しみ、熱意がある人材の掘り起しを行う。教室の内容や開催方法も柔軟に対応するなどして指導者の負担軽減を図る。 限りある予算のため、職員直営による修繕や補修を行いつつ、施設の長寿命化を図るための大規模改修を計画していく。
4	競技力の向上に向けた体制強化、指導者養成の推進	おおむね順調	全国大会等出場者やスポーツ少年団への支援実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止により、多くの全国大会が中止となり激励金は減少した。	施設の老朽化もあり、全国大会等の開催、プロスポーツ大会の誘致は難しくなっている。 指導者の減少は進んでいる。	全国大会やプロスポーツ大会だけでなく、スポーツイベント等を誘致することにより、市民のスポーツへの関心や競技者のモチベーションを高め、競技力の向上を図る。
5	スポーツの果たす役割の活用	やや遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され教室やイベントの開催ができなかった。	誘致する団体、有名選手の都合により、施策の実施が困難になる。	スポーツ関係の縄文ふるさと大使によるイベントを企画。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称 スポーツ協会		公園内各施設の老朽化機能維持について、安全安心にスポーツを行うため、計画的な施設改修が必要である。	改修費用が高額になることから、公園施設長寿命化計画を策定し交付金を活用し改修を進めたい。スポーツ協会内に計画検討委員会を設置して協力して計画を策定し改修する。
開催回数	2		
参加延べ人数	26		
関連市民団体等名称 陸上競技協会		日本陸連公認陸上競技場の資格取得に向けた改修工事のための優先的な予算措置。令和3年度中の公認更新に関わる改修を強く要望	R3公認更新は行わない。スポーツ協会からの要望であれば陸上競技場の機能維持改修工事をR5⇒R4前倒し実施する。公認取得不足費用の寄付等今後協議する。スポーツ協会からの要望であれば機能維持改修工事を実施する予定
開催回数	2		
参加延べ人数	6		

5.添付資料

別紙「施策評価シート」